Imokan-Disp 7SEG05WL

取扱説明書

このたびは、当社の温度計をご購入頂き、誠にありがとうございます。本製品の製造に際しては、万全を期していますが、万が一お気づきの点があれば、当社代理店にお問い合わせください。
本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

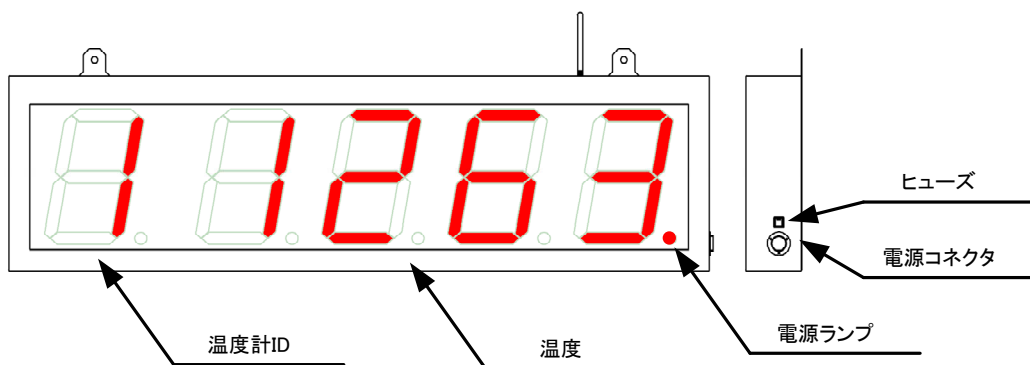
取扱説明書改訂履歴

Ver. Rev.	ページ	内容	日付
1.0		初版発行	2008.6

＜＜＜目次＞＞＞

□基本仕様

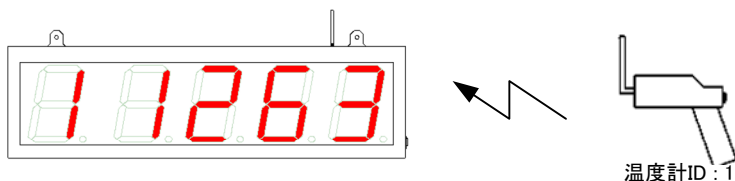
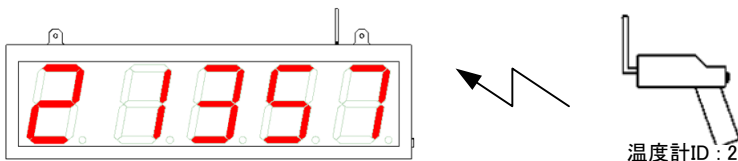
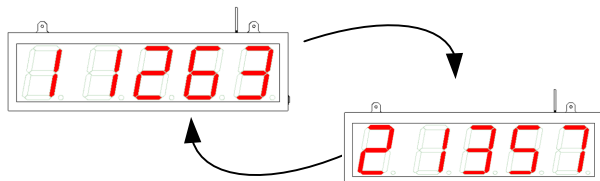
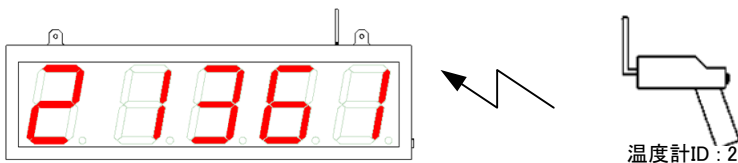
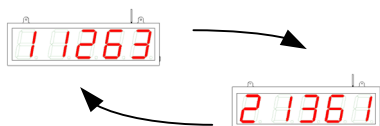
表示回路	文字高240mm 赤色7SEGLED PWM輝度制御
接続台数	イマージョン温度計(IDT-2009B/R WL) 最大16台
外部I／F回路	ZigBee無線モジュール 802.15.4 2.4GHz 4800bps
無線通信距離	100m (通信相手との直線上に障害物のない場合)
電源	AC85～132V/170～264V(自動切替) 80W
ヒューズ	φ6.4 ガラス管ヒューズ 250V/30A

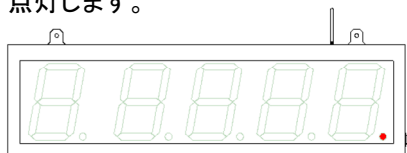
□外部名称説明

温度計ID	現在表示している温度を送信してきた温度計のIDを表示します。
温度	表示している温度計IDが送信してきた温度を表示します。
電源ランプ	表示データが無い場合、点灯して電源ONであることを示します。
ヒューズ	φ6.4ガラス管ヒューズ用のヒューズホルダーです。
電源コネクタ	AC電源コネクタです。 付属の専用ケーブルをご使用下さい。

□表示機能

温度計から送信されてきた温度データを表示します。
(温度計IDが)同じ温度計から新たに送信されてき場合、表示温度を更新します。

(温度計IDが)別の温度計から温度データが送信されてきた場合、
直ちにその温度を表示します。
その後、設定された表示切替時間毎に温度表示を切替えます。
ある温度計IDの温度を受信してから、データ有効期限で設定された時間が経過すると、その温度計IDの温度は破棄され、有効期限の残っている温度を切替表示します。
全ての温度データの有効期限がなくなると表示はブランクに戻り、電源ランプのみが点灯します。

温度計1から受信　→　温度計1の温度を表示更新

続いて温度計2から受信　→　温度計2の温度を表示して更新

新たに受信するまで温度計1、温度計2から受信したデータを交互に表示します。

新たに温度計2から受信　→　受信データをすぐに表示して更新

新たに受信するまで温度計1、温度計2から受信したデータを交互に表示します。

時間経過により古いデータ(温度計1)が破棄され、残っているデータだけ表示します。

全ての温度データの有効期限がなくなると表示はブランクに戻り、電源ランプが
点灯します。

□設定

・本機には以下の設定項目があります。

輝度設定	LEDの輝度を設定します。
表示切替時間	複数の温度データがあるときの表示切替時間を設定します。
有効期限	温度データを受信してから、その温度データを表示を継続する時間を設定します。

設定した内容は本体に保存され、電源をOFFにしても設定した値は残ります。
コマンド送信時の設定保存中、また電源ON時の設定復元中には、
表示器に ConF. と表示されます。

・設定方法

設定はコマンドを送信することで行ないます。
コマンドに続けて16進数で設定値(value)を送信し、Enterを送信します。
パソコン等に無線モジュールを接続し、表示器にコマンドを送信します。
また、温度計(IDT2009B/R WL)からも設定できます。
(温度計のマニュアルを参照して下さい。)

輝度設定

コマンド　　¥BR[value]↵
　value　　01～FE
FFを設定した場合FEに設定されます。
00を設定した場合、輝度は本体内コントローラ基板のボリューム(VR2)で調整します。

表示切替時間

コマンド　　¥DC[value]↵
　value　　01～FE
単位は秒です。

有効期限

コマンド　　¥DC[value]↵
　value　　01～FE
単位は20秒です。
(例: DE30↵と入力した場合、30(16進)→48(10進)x20=960(16分))

ジェイシーネット株式会社

大阪市西区靭本町１丁目５－６本町辰巳ビル6F
〒550-0004 TEL 06-6444-0096
URL:www.com-flex.com